

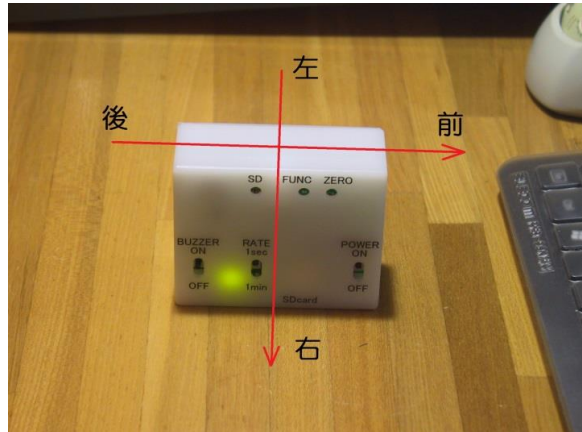
(4) 動作モニター計の予備テスト

【予備テストの目的】

動作モニター計の出力の性質を知ることで、初めて実際の動きを分析することができます。
そのために、モニター計を前後左右に傾けた時の出力の様子を最初に調べておきます。

【手順1】

下の写真のように水平平面上に装置を置き、前後左右方向を決める。
(注意：SD、Function、Zeroスイッチを上方にする方が分かり易い。)



- ①"POWER"スイッチ "ON" で電源が入る。
- ②"ZERO"スイッチ "ON" でその状態での加速度／傾きをZEROとして処理します。
- ③"FUNCTION"スイッチの 小(緑LED)、中(黄LED)、大(赤LED)を決める。
押すごとに"小(緑LED)、中(黄LED)、大(赤LED)"が点灯し、設定される。

"FUNCTION"スイッチの役目と操作方法

動き(加速度)の大きさに応じて、緑LED、黄LED、赤LEDは下記のような範囲で点灯します。
スイッチを押すごとに緑、黄、赤、緑・・・と順番にLEDが点灯する。

小さな加速度で緑LED



この範囲の加速度のときに、警告として赤LEDを点滅する場合

FUNCTIONスイッチを押し、
緑LEDを点灯させれば、
設定は終了

中位の加速度で黄LED



この範囲の加速度のときに、警告として赤LEDを点滅する場合

FUNCTIONスイッチを押し、
黄LEDを点灯させれば、
設定は終了

大きな加速度で赤LED



この範囲の加速度のときに、警告として赤LEDを点滅する場合

FUNCTIONスイッチを押し、
赤LEDを点灯させれば、
設定は終了

- ④サンプリング速度(データ採取速度)は"1秒"か "1分"を選択する。

- ⑤"SD"スイッチ "ON"

SDスイッチを1回押すと、前回のデータはすべて消去され、新たにデータが採取される。

データ採取中は"赤LED"がサンプリング速度もタイミングで点滅される。

- ⑥"BUZZER"スイッチ

"BUZZER"スイッチ....."ON"のとき

赤LEDが点灯時に"BUZZER"を鳴らすことが出来る。